



三五の森づくり 植樹レポート



Vol.02

2019年7月号

宮脇昭復活植樹祭を開催

3000本

三五の植樹をご指導いただいた、横浜国立大学名誉教授、宮脇昭先生がご自宅で倒れられてから4年の歳月が経ちました。リハビリの甲斐あって、今年4月14日に復活植樹祭として壇上に立たれました。場所は神奈川秦野市。先生はとても嬉しそうに植樹祭を眺め、ご指導されました。先生に『三五の恒川社長！』と呼ばれ、社長も木の名前を3回連呼されました。宮脇節はご健在です。トヨタ自動車殿、豊田合成殿、山田養蜂場殿など、先生に関わりの深い企業や団体が総勢400名あつまりました。



先生は『たった91歳。まだまだ植えます』とますますお元気になられたようです。

いのちの森づくり2020 技術センターでキックオフ

950本

豊田技術センターの西側急斜面、三五でもいのちの森づくり2020が始まりました。豊田技術センターは現在更地になったところが多く、写真では穏やかに見えますが、実は大変風の強い場所となっていました。風が強すぎる場所では苗木は育ちません。とても心配していましたが、今ではうまく根付いてくれているようです。



先輩社員の植え方説明と熱心に聞く新入社員たち



いのちの森づくり2020って？

世界に発信、森づくり

宮脇先生がご病気になられる直前に、東京オリパラの開催が決まりました。先生はこの時、『ぜひ日本人の植樹文化を世界に伝えましょう』と意気込んでおられました。その思いは療養中の今でも強く持たれ、先生の思いを形にして残していこうと集まったメンバーが「いのちの森づくり2020世話人会」。三五はこの会の事務局を仰せつかっており、先生の夢を現実にすべく、全国の企業に森づくりを呼びかけ、会を取りまとめています。

TOPの背中

植樹祭の後片付けをする恒川社長（左）と土起しをするXSC野坂総経理（右）



社長自らがもくもくと作業をする姿にとっても感動し、思わず写真を撮りました。皆さんはどう感じましたか？『トップが本物なら部下も本物』宮脇先生のお言葉より。



三五の森づくり

三五がお手伝い 保田ヶ池公園植樹祭

3654本

今年2月、みよし市とボランティア団体と三五の三者協働で植樹祭を遂行しました。三五のスタッフ50名は市民の方によく指導してくれました。三五はみよしに工場が多くありながら、市民と一緒になにかを成し遂げるといことはあまりないです。植樹しませんか？と市に声をかけてから4年後の実施。私自身、達成感と満足感でいっぱいの植樹祭となりました。スタッフ社員もみよし市民にありがとうと感謝されたとのこと。



みよし市民に植え方説明をする三五スタッフ



ASI植樹祭はイベント盛りだくさん

2860本

植樹に関わって良かった！

今回の事務局紹介

ASI ダン・グレディさん

まじめで穏やか、怒ったところは見たことない。仕事はぬかりなくきっちりこなします。ASIの植樹祭では欠かせない存在です。



ASIの植樹祭は今年で6回目。もう慣れたもので植樹祭後のイベントがすごい。ウサギとカメの競争、アニマルショー、ワニ、ヘビ、カエル、フクロウ、タカも登場し、生き物に触れ合いながら動物の生態を学ぶ機会になっています。

これは何？！

植え方の説明が面白い！



土を模した板に竹杭や苗木が刺さっていてマウンドを表現しています。これは目からウロコ。説明しやすいしわかりやすい。思いもよらない新手的技でした。

現在の植樹本数：278,628本 目指せ35万本！